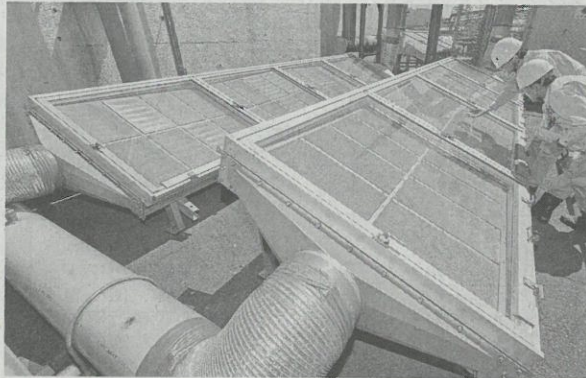


金属加工のフジコー（北九州市、萩尾寿昭社長）は独自の高性能光触媒を採用した大型脱臭装置で、下水処理場や工場の需要を開拓する。活性炭などを使う方式よりも安定した性能で、低コストで運用できるのが特徴。し尿関連施設で導入効果を確認したことから、まず下水処理場向けに販売を強化する。九州に多いゴムや塗装など臭気対策が必要な工場用も開発し、取り込みを狙う。

## フジコー、光触媒を効率化

# 工場や下水場 太陽光で脱臭



光触媒脱臭装置は太陽光で悪臭成分を分解し、低コストで運用できる

## 活性炭より低コスト運用

需要開拓を進めるのは、光触媒大型脱臭装置（ソーラーリアクター）。酸化チタンなどに光が当たると活性酸素が発生し、尿臭の原因となるアンモニアなどの有機物を二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や水に分解する光触媒の脱臭作用を応用した。

光触媒は通常、接着剤の役割を果たす溶剤に酸化チタンなどの粒子を混ぜ、塗布して使われるが、粒子が光や空気に接触する面積が減少するため効率が低い。このため、同社は粒子を超音速で素材に吹きつけ、表面に埋め込むように一体化させる「溶射」などの独自の技術で効率を高めた。

下水処理場の汚泥にも応用できるため、フジコーはまず自治体の需要を開拓する。約20人の専任組織を今春新設するなど、九州には自動車産業が集積していることから、臭気が発生するゴム工場などに今後用途を拡大。5年後をめどに売上高で数十億円規模の事業への育成を目指す。

## 西鉄など6社 新規事業案

# 全国のVBから募集

福岡県など紹介

福岡県は監査法人トーマツの取組みは「中小・ベンチャー企業による大企業への地域活性化のための新規事業」（JT B九州）

福岡県とトーマツの取組みは「中小・ベンチャー企業による大企業への地域活性化のための新規事業」（JT B九州）

需要開拓を進めるのは、光触媒大型脱臭装置（ソーラーリアクター）。酸化チタンなどに光が当たると活性酸素が発生し、尿臭の原因となるアンモニアなどの有機物を二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や水に分解する光触媒の脱臭作用を応用した。

光触媒は通常、接着剤の役割を果たす溶剤に酸化チタンなどの粒子を混ぜ、塗布して使われるが、粒子が光や空気に接触する面積が減少するため効率が低い。このため、同社は粒子を超音速で素材に吹きつけ、表面に埋め込むように一体化させる「溶射」などの独自の技術で効率を高めた。

下水処理場の汚泥にも応用できるため、フジコーはまず自治体の需要を開拓する。約20人の専任組織を今春新設するなど、九州には自動車産業が集積していることから、臭気が発生するゴム工場などに今後用途を拡大。5年後をめどに売上高で数十億円規模の事業への育成を目指す。

## 輸出額 13カ月連続減

### 8月6.3%減 韓国向け鉄鋼不振

九州経済圏

門司税関が21日発表し、九州経済圏（九州7県と山口・沖縄県）の8月の貿易統計（速報）によると、輸出額は前年同月比6.3%減の5683億円で、13カ月連続で減少した。輸入額は19.4%減の4590億円だった。輸出額は前年同月比6.3%減の5683億円で、13カ月連続で減少した。輸入額は19.4%減の4590億円だった。輸出額は前年同月比6.3%減の5683億円で、13カ月連続で減少した。輸入額は19.4%減の4590億円だった。

中国による供給過剰で市況が悪化したことから、韓国向けを中心に落ち込んだ。ペットボトルの原料に使われるパラキシレンなどの有機化合物も24.8%減で、主に中国向けが不振だった。一方、スマートフォン用半導体などの製造装置

## 「移住者たたる」限定販売

定で製造し、沖縄県内と鹿児島県の奄美地区で発売する。世界で唯一、5年に一度開催される。

世界のウチナンチュで、5年に一度開催される。



定で製造し、沖縄県内と鹿児島県の奄美地区で発売する。世界で唯一、5年に一度開催される。

## 世界のウチナンチュ大会

### オリオンビール記念缶

定で製造し、沖縄県内と鹿児島県の奄美地区で発売する。世界で唯一、5年に一度開催される。